学校だより
# 中山小
中山小学校は創立131年目を迎えました
”夢をかたちにこころひとつに大好き中山っ子”
横浜市立中山小学校
令和５年　８月２８日　発行
８・９月号
学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます

## 前期後半のスタートです！～児童の主体的・対話的な学びを推進していきます

校長　吉田　茂樹

猛暑続きの夏休みでしたが、無事に終わって前期後半の授業がスタートしました。４年ぶりに行動制限のない夏休みで、地域の盆踊り大会も大盛況でした。子どもたちは、のびのびと過ごして、しっかり充電できたことと思います。

７月には、４年厚木・七沢宿泊体験学習、５年三浦宿泊体験学習、６年日光修学旅行と大きな行事が続きました。天候に恵まれ、熱中症や大きなけが、病気もなく、計画していた活動を全て行うことができました。体験学習を通して教科等の学びを深めるだけではなく、実行委員や部屋班、活動班など自分たちの役割を果たすことで、責任感や自主性、協調性、規律性、思いやりなど行動面でも多くのことを学ぶことができたと思います。保護者の皆様には、児童の体調管理や持ち物の確認など御協力いただきましてありがとうございました。

さて、夏休み明けは、久しぶりの登校で、不安を抱えたり、生活リズムを取り戻すのに時間がかかったりする児童もいます。早寝・早起きを心掛けていただくとともに、不安なことがありましたら、担任・学年・児童支援専任に御相談ください。８月３１日の午後には、本校体育館において、緑区横浜こども会議が開催されます。緑区内の公立小中学校の代表児童・生徒が集まり、安心・安全な学校生活を送れるよう、いじめ防止に向けた取組の発表や話合いが行われます。児童・生徒が主体的に考え、行動し、発信していく貴重な場です。中山小学校では、挨拶運動や全校縦割り活動など学年の枠を超えて高学年がリーダーとなって、皆が仲良く、安心して学校生活を送れるように主体的に取り組んでいます。９月には、計画委員会が中心となって推進している「伝え合って　えがおいっぱい」～ニコニコ思いやりの輪～　に向けて、各クラスでの取組が行われます。

また、９月は、前期のまとめ、振り返りとともに１０月の運動会に向けた練習が始まります。４年ぶりに全学年で、赤白に分かれての対抗形式を計画しています。但し、全体の教科等時数の確保や熱中症対策・児童の体力面、新型コロナウィルス感染防止の観点など持続可能な行事の在り方を踏まえ、午前開催（１２：３０下校予定）とし、内容を精選します。詳細につきましては、９月中旬にお知らせを配布します。まだまだ、厳しい暑さが続きますので、熱中症対策・体調管理を各御家庭でもよろしくお願いいたします。

**お知らせ**：中山小学校区に御在住の永井紗耶子さんが、日本の大衆文学の最高峰の賞である「第１６９回直木賞」を受賞されました。受賞作品の「木挽町（こびきちょう）のあだ討ち」は、今年の「山本周五郎賞」も受賞されています。誠におめでとうございます。ちなみに小学校の卒業文集で「将来の夢は作家」と書いていたそうです。中山小学校の子どもたちにとっても自分の夢・目標の実現に向けて大きな励みになると思います。